

議案第10号

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について

令和5年2月22日提出 岩手県人事委員会 委員長 渡辺 正和

第1 趣旨

一般職の職員の給与に関する条例（昭和28年岩手県条例第48号）及び市町村立学校職員の給与等に関する条例（昭和28年岩手県条例第49号）の一部改正に伴い、給料7割措置の対象者に係る特殊勤務手当の計算方法を定める等所要の改正を行うものである。

第2 規則案の内容

（1）表1の項

警護要則の制定廃止に伴う所要の整備を行うこと。（第13条関係）

（2）表2の項

ア 警護対象者の警護の作業に従事した職員に対する刑事作業手当の額を引き上げること。（第13条関係）

イ 定率の手当について、その基礎額に給料月額のほか、役職定年者等への特例による給料を含むこととすること。（附則第23項関係）

第3 施行期日（附則関係）

令和5年4月1日から施行すること。ただし、表1の項の規定は、公布の日から施行すること。

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和5年 月 日

岩手県人事委員会
委員長 渡 辺 正 和

岩手県人事委員会規則第 号

職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則

職員の特殊勤務手当に関する規則（昭和31年岩手県人事委員会規則第65号）の一部を次のように改正する。

	改正前	改正後
1	<p>（刑事作業手当）</p> <p>第13条 〔略〕</p> <p>2～4 〔略〕</p> <p>5 条例第10条の2第1項第15号に規定する「人事委員会の定めるもの」とは、皇族の身辺警衛及び警護要則（平成6年国家公安委員会規則第18号）第2条に規定する警護対象者の身辺警護の作業とする。</p> <p>6～9 〔略〕</p>	<p>（刑事作業手当）</p> <p>第13条 〔略〕</p> <p>2～4 〔略〕</p> <p>5 条例第10条の2第1項第15号に規定する「人事委員会の定めるもの」とは、皇族の身辺警衛及び警護要則（令和4年国家公安委員会規則第15号）第2条第1号に規定する警護対象者の身辺警護の作業とする。</p> <p>6～9 〔略〕</p>
2	<p>（刑事作業手当）</p> <p>第13条 〔略〕</p> <p>2～6 〔略〕</p> <p>7 条例第10条の2第2項に規定する手当の額は、次の各号に掲げる作業の区分に応じ、当該各号に定める額とする。</p> <p>（1）～（14） 〔略〕</p> <p>（15） 条例第10条の2第1項第15号の作業</p> <p>ア 天皇又は皇后、上皇、上皇后、皇太子、皇太子妃、皇嗣若しくは皇嗣妃の警衛の作業 作業1日につき1,150円（同一の日に第7項第1号の作業に従事した場合にあっては、590円）</p> <p>イ 〔略〕</p> <p>（16） 〔略〕</p> <p>8・9 〔略〕</p> <p>附 則</p> <p>1～22 〔略〕</p>	<p>（刑事作業手当）</p> <p>第13条 〔略〕</p> <p>2～6 〔略〕</p> <p>7 条例第10条の2第2項に規定する手当の額は、次の各号に掲げる作業の区分に応じ、当該各号に定める額とする。</p> <p>（1）～（14） 〔略〕</p> <p>（15） 条例第10条の2第1項第15号の作業</p> <p>ア 天皇又は皇后、上皇、上皇后、皇太子、皇太子妃、皇嗣若しくは皇嗣妃の警衛又は警護対象者の警護の作業 作業1日につき1,150円（同一の日に第7項第1号の作業に従事した場合にあっては、590円）</p> <p>イ 〔略〕</p> <p>（16） 〔略〕</p> <p>8・9 〔略〕</p> <p>附 則</p> <p>1～22 〔略〕</p> <p>（他の職への降任等をされた職員等に対する手当の特例）</p> <p>23 給与条例附則第41項、第45項若しくは第46項又は給与等条例附則第43項、第45項若しくは第46項の規定による給料を支給される職員に対するこの規則の適用については、この規則の規定中「給料月額」とあるのは、「給料月額と給与条例附則第41項、第45項若しくは第46項又は給与等条例附則第43項、第45項若しくは第46項の規定による給料の額との合計額」とする。</p>

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、表 1 の項の改正部分は、公布の日から施行する。